

医療法人純正会 デイサービスセンター太陽・小牧 指定介護予防通所型サービス 運営規程

（事業の目的）

第1条 医療法人 純正会が設置する医療法人純正会デイサービスセンター太陽・小牧（以下「事業所」という。）が行う指定介護予防通所型サービス（以下「通所型サービス」という）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の生活相談員、看護職員、機能訓練指導員及び介護職員（以下「生活相談員等」という。）が要支援者及び事業対象者に対し、適切な通所型サービスを提供することを目的とする。

（運営の方針）

- 第2条 通所型サービスの提供にあたっては、事業所の生活相談員等は、要支援者、事業対象者が可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。
- 2 通所型サービスの提供に当たっては、小牧市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

（事業所の名称及び所在地）

第3条 この事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- （1）名 称 医療法人純正会 デイサービスセンター太陽・小牧
- （2）所在地 愛知県小牧市大字二重堀字中西浦768番地

（従業者の職種、員数及び職務の内容）

第4条 この事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務の内容は、次のとおりとする。

- （1）管理者 1名（常勤兼務、機能訓練指導員と兼務）
管理者は、介護予防通所型サービス計画の作成、従業者の管理、通所型サービスの利用の申込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行う。
- （2）生活相談員 2名（常勤専従1名、常勤兼務1名、介護職員と兼務）
生活相談員は、利用者の生活の向上を図るため適切な相談・援助等を行う。
- （3）看護職員 2名（常勤専従1名、非常勤専従1名）
看護職員は、看護その他の通所型サービスの提供に当たる。
- （4）介護職員 11名（常勤専従4名、常勤兼務1名、生活相談員と兼務、非常勤専従5名、非常勤兼務1名、機能訓練指導員と兼務）
介護職員は、介護その他の通所型サービスの提供に当たる。
- （5）機能訓練指導員 3名（常勤専従1名、常勤兼務1名、管理者と兼務、非常勤兼務1名、介護職員と兼務）

機能訓練指導員は、機能訓練その他の通所型サービスの提供に当たる。

（営業日、営業時間等）

第5条 営業日、営業時間及びサービス提供時間は、次のとおりとする。

- （1） 営業日 月曜日から土曜日までとする。ただし年末年始（12月30日～1月3日）をのぞく。
- （2） 営業時間 午前8時30分から午後5時30分までとする。
- （3） サービス提供時間 午前9時15分から午後4時30分までとする。

（利用定員）

第6条 通所型サービスの合計の利用定員は、40人とする。（通常規模）

（通所介護の内容）

第7条 事業所が行う通所型サービスの内容は、次のとおりとする。

- （1） 生活指導
- （2） 介護サービス
- （3） 健康状態の確認
- （4） 送迎
- （5） 食事の提供
- （6） 入浴（介助浴、特別浴）
- （7） 運動器機能、口腔機能の向上訓練
- （8） ADL の評価

（利用料その他の費用の額）

第8条 通所型サービスを提供した場合の利用料の額は、小牧市長が定める基準によるものの額とし、当該通所型サービスが法定代理受領サービスであるときは、小牧市長が定める基準によるものの額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

- 2 法定代理受領以外の利用料については、小牧市長の定める基準の額とする。
- 3 次条に定める通常の事業の実施地域を越えて行う通所型サービスの送迎に要する交通費は1kmごとに100円を徴収する。
- 4 食費については、650円を徴収する。
- 5 その他、通所型サービスにおいて通常必要となるものに係る費用については実費を徴収する。
- 6 利用料等の支払いを受けたときは、利用料とその他の利用料（個別の費用ごとに区分）について記載した領収書を交付する。
- 7 サービスの提供に当たっては、あらかじめ、利用者又はその家族に対し、利用料並びにその他の利用料の内容及び金額に関し事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。
- 8 法定代理受領サービスに該当しない通所型サービスに係る利用料の支払いを受けた場合は、提供した通所型サービスの内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を利用者に対して交付する。

9 利用者が通所型サービスの利用を当日キャンセルした場合、食事費用を実費で徴収する。

（通常の事業の実施地域）

第9条 通常の事業の実施地域は、小牧市とする。

（衛生管理等）

第10条 利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講ずるものとする。

2 事業所において感染症が発生し、又は蔓延しないように必要な措置を講ずるものとする。

（サービス利用に当たっての留意事項）

第11条 利用者は事業所内におけるすべての設備、器械及び器具の使用について、通所型サービス従事者の指示に基づき、当該施設サービスの利用に当たるものとする。

（緊急時等における対応方法）

第12条 通所型サービスに当たる従業者は、現に通所型サービスの提供を行っているときに利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに、主治医への連絡を行う等の必要な措置を講ずるとともに、管理者に報告するものとする。

（非常災害対策）

第13条 管理者は、消防法施行規則第3条に規定する消防計画及び風水害、地震等の災害に対処するための計画に基づき、非常災害に備えるため、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う。

（苦情処理）

第14条 通所型サービスの提供にかかる利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために必要な措置を講ずるものとする。

2 事業所は、提供した通所型サービスの提供に関し、法第23条の規定により小牧市が行う質問若しくは照会に応じ、及び小牧市が行う調査に協力するとともに、小牧市から指導又は助言を受けた場合は当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

3 事業所は、提供した通所型サービスに係る利用者からの苦情に関して国民健康保険団体連合会の調査に協力するとともに、国民健康保険団体連合会の指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

（その他運営に関する重要事項）

第15条 通所型サービスに当たる従業者の資質の向上のために、次のとおり研修の機会を設けるものとする。

(1)採用時研修 採用後3か月以内

(2)継続研修 年1回

- 2 従業者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしてはならない。
- 3 従業者であった者が、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密をもらすことがないよう、従業者でなくなった後においてもこれらの者の秘密を保持すべき旨に従業者との雇用契約の内容とするものとする。
- 4 この規程に定めるもののほか、この事業所の運営に関する事項は、医療法人純正会と管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規定は、令和2年6月1日から施行する。

この規定は、令和3年4月1日から施行する。